

山行報告書

報告書作成

2005年6月20日

山名 [山域]	大普賢岳～行者還岳(大峰)	目的と方法	ブナの観察
登山期間	2005年6月18日	山行形態	前夜発日帰り 縦走
参加人数	7名		

行動記録

6 / 17(金) 岩津市民センタ - (19:45)===豊田東IC(19:55)===亀山IC===針IC===上北山村TS
 6 / 18(金) 上北山村TS(5:00)===行者還トンネル東口に車デポ===和佐又ヒュッテ登山口(6:40)---笹の窟(7:40,7:50)---大普賢岳(9:00,9:10)---弥勒岳---薩摩ころび---稚児泊(10:20,10:45)---国見岳(11:00)---七曜岳(11:20)---行者還岳(12:30,12:40)---トンネル西口分岐---トンネル東口分岐---トンネル東口===阿騎野の湯===岩津市民センタ - (21:30)

概念図



日誌

6 / 17(金) 豊田東ICから亀山IC、針IC、R370、R169を経て上北山村にてテント泊
 6 / 18(土) 曇りのち晴 上北山村TSより行者還トンネル東口に車をデポし和佐又登山口に行く。駐車場は広い(料金500円)和佐又山をまいて尾根道を直進し日本岳の南面の絶壁の下にでる。鉄梯子を登り絶壁のすそを通り笹の窟になると岩清水が取れる。日本岳のコルから鉄梯子が連続している。少し傾斜が緩むと奥駆道と合う。まもなく大普賢岳の頂上に着く。眺望は山上ガ岳、稲村ガ岳をはじめ大峰の山々大台ヶ原も一望できた。山頂からは急な下りで鎖場もある。弥勒岳の下りも急で<薩摩ころび>の名がうなずける。平らな広い稚児泊で早目の昼食をとる。シロヤシオが満開できれいだ。国見岳、七曜岳に向かう稜線は登山道近くまでブナ、カエデの林で短い笹が絨毯を敷いたように生えている。とても雰囲気の良い所でつかれを忘れさせてくれる。行者還岳の頂上はシロヤシオ、シャクナゲなどお花は終わっていた。南の岩頭から弥山、八経が岳、大峰の主稜線が展望できる。先は絶壁なので少し戻った所から下っていくと真新しい立派な行者還小屋が建っている。そこから切り立った岩壁が見える。小屋をあとにして少し登った所に草タチバナの大群落があった。登山道から谷の方まで一面に広がっていて、何十メートル先までも続いている。これほどの群落見た事がない。感激しました。トンネル西口分岐を過ぎ壊れかけた避難小屋の前の小高みを登ると東口に下りる看板が立っている。そこを左に折れてジグザグに下る。又標識がある所で左に折れるしばらく行くとトンネル東口に到着した。トンネルから流れてくる涼しいを浴び車のあるところまで10分程歩く。和佐又ヒュッテ登山口までデポした車で行き途中阿騎野の湯に入り(800円)岩津市民ホムに21時30分に到着した
 岩峰、ブナ、満開のシロヤシオ、草タチバナの群落、サラサドウダン、見所、歩き応えのある感激の山行でした。

香りたつ 草タチバナの 群れのなか

NAさん 詠む